

# W-726 取扱説明書

W726-z-2209

ご購入ありがとうございます。  
ご使用前に本取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお取り扱い  
下さいますようお願い申し上げます。  
本取扱説明書はお手元に保管して下さい。

- 印刷による制限のため、本取扱説明書中の図が実際の表示と異なる場合があります。
- 本製品によって生じた、いかなる支出・損益・その他の損失に対して何ら責任を負いません。
- 本取扱説明書を製造者の許可なく変更・複製することを禁じます。

## 製品仕様 (改良のため予告なく変更する場合があります。)

- 時間精度: 平均月差 ±30 秒以内 (気温 25℃で使用した場合)  
※電波時計による時刻修正を行わない場合  
※指針 (針の位置) 誤差  
アナログ時計の特性上、指針誤差が生じる場合がありますが、故障ではありませんのでそのままお使い下さい。  
秒針: ±1 秒以内、時・分針: ±3 度以内
- 使用温度範囲: 0 ~ +40℃ ※結露なきこと  
(外観 / 機能に支障無く、連続使用可能な温度範囲)
- 使用推奨電池: 時計 / 振子用 単 2 形アルカリ乾電池 (LR14 1.5V) 2 個  
報時用 単 2 形アルカリ乾電池 (LR14 1.5V) 2 個
- 電池寿命: 時計 / 振子用 約 10 ヶ月 (単 2 形アルカリ乾電池 2 個使用の場合)  
報時用 約 8 ヶ月 (単 2 形アルカリ乾電池 2 個使用し、最大音量で 1 日に 16 回使用の場合)
- 電波受信: 40kHz/60kHz のどちらか受信しやすい電波を受信し、現在時刻に合わせる  
●自動受信 (最多 4 回 / 1 日) ●手動受信
- 報時機能: 18 曲メロディ (メロディのジャンルを A・B・C の 3 種類の中から選択可能)
- 夜間自動鳴り止め機能: 午後 10 時 ~ 午前 5 時
- 振子

## 電波時計について

電波時計とは  
標準電波を受信して自動で時刻を修正する機能を持つ時計です。  
※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。

標準電波とは  
情報通信研究機構 (NICT) が運用している時刻情報をのせた電波です。標準電波送信所は、福島県の「福島局: おおたかどや山標準電波送信所」と、佐賀県と福岡県の県境にある「九州局: はがね山標準電波送信所」の国内 2 か所にあります。  
※標準電波の時刻情報は、およそ 10 万年に 1 秒の誤差という精度の「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波の送信停止について  
標準電波は毎時 15 分と 45 分から各 1 分間は一部の時刻情報の送信が中断されます。また、送信所の定期点検や落雷などの影響により停波 (送信停止) することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

日本国外でのご使用について  
本製品は、日本の標準電波以外を受信できません。海外で使用した場合、ご使用になる場所の条件により日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った日時を表示する場合があります。あらかじめご了承下さい。

電波の受信範囲について  
送信所からおおむね半径 1000km とされています。  
※電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。



## 電波を受信しにくい環境

次のような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。

- 工事現場、空港の近く、交通量の多い場所など電波障害の起きやすいところ
  - ビルの中、ビルの谷間、山など電波を遮るものの近く
  - 鉄筋、鉄骨の建物の中や地下
  - 金属製の雨戸やブラインドの近く
  - 高圧送電線、ラジオやテレビの送信所の近く
  - 自動車、電車、飛行機などの中
  - 家電製品やOA機器、蛍光灯などの照明器具の近く
  - スチール机などの金属製家具の上や近く
  - 朝・夕の時間帯や雨天のとき
- ※電波障害などにより誤った電波を受信し、時刻を誤表示する場合は、リセット操作を行い使用する場所を変更してご使用下さい。

標準電波についての詳しい情報は「情報通信研究機構」のホームページ内の「日本標準時グループ」を参照して下さい。

情報通信研究機構 ホームページアドレス <https://jyy.nict.go.jp>

## 自動電波受信機能について

本製品は、時刻を修正するために、毎日、内蔵プログラムにより自動電波受信を行います。電波を受信できない場合、内蔵クォーツの精度で計時し、次の自動受信時間に再び電波受信を行います。

## 各部の名称

■時計/振子用電池ホルダ  
単 2 形乾電池 2 個を ⊕ ⊖ の表示に合わせて入れて下さい。  
※報時用電池を入れてから、時計/振子用電池を入れて下さい。  
※電池を入れるときは ⊖ 側から入れて下さい。  
※電池を外すときは ⊕ 側から外して下さい。

■壁掛け部

■時計用 RESET ボタン  
リセットするときに使用します。

■M SET ボタン  
電波を受信できないときなど手動で時刻を合わせるときに使用します。

■報時用電池ホルダ  
単 2 形乾電池 2 個を ⊕ ⊖ の表示に合わせて入れて下さい。  
※電池を入れるときは ⊖ 側から入れて下さい。  
※電池を外すときは ⊕ 側から外して下さい。

■電池フタ

■ツメ部分

■電池フタツメ受け穴

■REC ボタン  
手動で電波を受信させるためのボタンですが、各種設定には使用しません。

■スピーカー

■注意  
種類の違う電池、古い電池と新しい電池などを混ぜて使用しないで下さい。電池の破裂や時計の故障の原因となります。

■報時音ジャンル切り替えスイッチ: 報時音の切り替えに使用します。  
A (民謡) B (クリスマスミュージック) C (名曲)

■報時 ON/OFF スイッチ: 報時の ON/OFF に使用します。

■報時用 RESET ボタン: 1 回押すごとに、報時音の曲順がメロディリストの ① にリセットされます。報時音が鳴っている最中に押すと、音が止まります。

■音量調節ツマミ: 右に回すと音量が大きくなり、左に回すと音量が小さくなります。

■SET ボタン: 報時音を試聴できます。

■A B C  
OFF ON  
RESET  
VOLUME  
SET

## ご使用方法

- ①報時用電池ホルダの電池フタを開けて、単 2 形乾電池 2 個を ⊕ ⊖ の表示に合わせて入れ、ツメ部分をツメ受け穴に差し込み、電池フタを閉じる。
- ②時計/振子用電池ホルダの電池フタを開けて、振子軸から振子固定スポンジを外す。
- ③単 2 形乾電池 2 個を時計/振子用電池ホルダの ⊕ ⊖ の表示に合わせて入れ、ツメ部分をツメ受け穴に差し込み、電池フタを閉じる。
- ④初期電波受信を開始  
電池を入れると、針が早回りをし、4 時、8 時、12 時のいずれかの位置で一旦停止し、電波受信状態となります。



注意 電波受信中 (2 ~ 17 分間) は針が停止したままになりますが、故障ではありません。電波受信の結果がわかるまで、そのままお待ち下さい。

- 電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。
- 電波受信に失敗した場合、時刻を修正しないで、通常の運針を始めます。  
→ 電波受信ができなかった場合は... を参照。

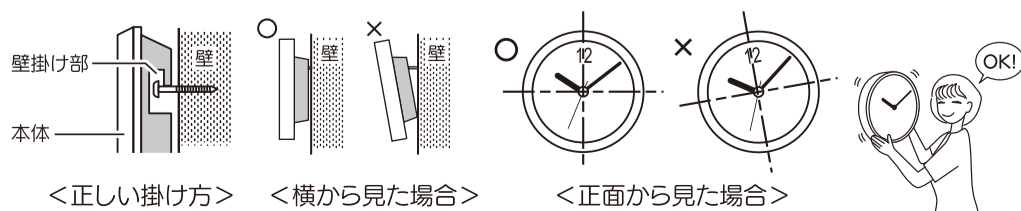
※電波受信に失敗して通常の運針を始めた後、正時になると針が停止し、再度受信モードに入ります。

- ⑤時計を掛ける  
本書「時計の掛け方について」と「電波時計について」を参照。

## 時計の掛け方について

注意 掛け方が不適切な場合、落下する危険があります。

- 掛け具に時計を掛けた際に、時計本体を上下・左右・前後に軽く動かして、確実に掛かっていることを確認して下さい。
  - 時計は垂直・水平に掛けて下さい。時計に傾きがあると時計の精度や機能が正常に働きません。
  - ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に掛けて下さい。
  - 落下の原因になりますので、壁掛け部以外には掛けないで下さい。
  - 壁の裏側に電気配線等がある場所に取り付けると掛け具で電気配線等を傷つけ、火災・感電につながる恐れがあります。事前に電気配線等の位置を確認し、取り付けて下さい。
  - 壁の材質・構造を確認の上、この時計の重さに充分耐えられる掛け具を選んで下さい。
- ※材質・構造がご不明の場合は、建築メーカー等へ相談して下さい。





## 報時機能について

正時になるとメロディが鳴ります。  
報時音ジャンル切り替えスイッチで、メロディのジャンルをA・B・Cの3種類の中から選択できます。

<メロディリスト> ※内蔵ICで制御されていますので、曲順の変更はできません。

### A <民謡>

- ①The Butterfly Lovers
- ②The Moon Over a Fountain
- ③A Wonderful Night in Spring
- ④The South Recalled
- ⑤Full of Joy
- ⑥The Elegant Music

### B <クリスマスミュージック>

- ①牧人 羊を
- ②シングルベル
- ③きよしこの夜
- ④ひいらぎかざろう
- ⑤もろびとこぞりて
- ⑥クリスマスおめでとう

### C <名曲>

- ①花のワルツ
- ②夢路より
- ③グリーンスリーブス
- ④セレナーデ
- ⑤美しく青きドナウ
- ⑥ロッカバイ・ベイビー

## 夜間自動鳴り止めについて

本製品は内蔵プログラムにより、午後10時から午前5時までの間、報時は鳴りません。

※報時を必要としないときは、報時ON/OFFスイッチをOFFにして下さい。  
※長期間報時を使用しないときは、報時用電池ホルダから電池を外して下さい。

## 電波受信ができなかった場合は…

### ①朝までそのままにしておく

一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、一晩そのままにしておくと、受信できる可能性が高くなります。

### ②設置場所を変える／受信をやり直す

本書 **電波時計について** の **電波を受信しにくい環境** を参考にして設置場所を変え、リセット操作をして再度受信をさせる。

### ③手動で時刻を設定する

電波を受信できない場合は、内蔵クォーツの精度で計時します。  
本書 **手動で時刻を設定する** を参照。

## 手動で時刻を設定する

### ①時計用RESETボタンを押して設定内容を初期化する。

(本書 **リセット操作について** を参照)

→時計用RESETボタンを押すと、針が早回りをして12時の位置で停止します。  
※針の停止までは最長で約6分かかります。

※リセット操作後に針が停止する12時は、必ず午前0時となります。合わせたい時刻が午後の場合は12時間以上移動させて(一度12時を通過させてから)現在時刻に合わせて下さい。

※午前/午後を間違えて設定してしまうと、日中は夜間自動鳴り止め機能が作動するため報時音が鳴らず、午後6時～翌日の午前9時まで報時音が鳴ってしまいます。

### ②リセット操作後の電波受信(針が12時の位置で停止中)にM SETボタンを3秒以上押す。

→手動で時刻が設定できる状態になり、秒針は停止したまま、時分針が早回りし始めます。

※8秒以上何も操作をしないと手動設定モードが解除され、針が通常運針を始めます。

### ③設定したい時刻の5分手前を目安に、M SETボタンを離す。

→時分針がその場で停止します。

### ④M SETボタンを1回ずつ押し時刻を合わせる。

→M SETボタンを1回押すごとに分針が1分ずつ進みます。  
※ボタンを押し続けると早回りをし、放すと停止します。

### ⑤手動設定が終了したら、M SETボタンを放して8秒以上待つ。

→針が通常運針を開始し、手動設定が完了となります。

※手動で時刻を設定した場合も、自動受信時間になると、電波を受信する状態になります。電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。

※手動で時刻を設定した場合、正時ちょうどに報時音メロディが鳴らない場合があります。手動設定後、電波の受信に成功すれば、報時音メロディが正時ちょうどに鳴るように自動的に修正されます。

## リセット操作について

操作中に不明な点が出てきた場合、時計用RESETボタンを押して下さい。  
設定されている内容がお使い始めの状態に戻ります。針が早回りをして12時の位置で停止し、再度2～17分間電波受信状態となります。

※時計用RESETボタンは、先の細い尖っていない棒などで押して下さい。  
針などの鋭利なものを使用するとボタンが破損しますのでご注意ください。

## 静電気の影響

静電気の影響により、正常に動かなくなることがあります。このような場合はリセット操作をして下さい。

## 電池の交換について

●時計/振子用電池容量が少なくなると、秒針の進みが目に見えて遅くなったり、振子の動きが鈍くなったりします。自動電波受信のときは針がぐるぐる回ります。このような場合は、速やかに新しい電池に2個同時に交換して下さい。

●報時用電池容量が少なくなると、音量が小さくなったり、音がひずんだりします。このような場合はすみやかに同じ種類の新しい電池に2個同時に交換して下さい。

※買い置き電池を使用した場合、乾電池に示されている「使用推奨期限」や保管状態により、電池寿命が短くなることがあります。

## 故障かな?と思ったときには…

W726-z-2209

※製品が正常に作動していないときは修理を依頼する前に下記を参考にお確かめ下さい。

### 針がぐるぐる回る

考えられる原因	処置
電池容量が少ない	新しい電池に交換して下さい。
電池を入れた直後の電波の受信の準備中	そのままお待ち下さい。 早回りしている針は4時、8時、12時のいずれかの位置で一旦停止します。 電波を受信すると、自動的に針を現在時刻に合わせます。 ※その間ボタン操作はしないで下さい。
時刻修正中	電波受信に成功した場合、自動的に針を現在時刻に合わせます。 電波受信に失敗した場合、通常の運針を始めますが、現在時刻ではありません。 本書 <b>電波受信ができなかった場合は</b> を参照して下さい。

### 秒針が止まって動かない

考えられる原因	処置
針がぐるぐる回った直後の電波受信	そのままお待ち下さい。 ※本製品は、針位置の誤差を自動で修正します。
秒針位置の自動補正中	

### 時計が動かない

考えられる原因	処置
電池容量が無い	時計/振子用電池ホルダの電池を同じ種類の新しい電池に2個同時に交換して下さい。
電池が入っていない	
電池が正しい向きで入っていない	電池の⊕⊖の向きを確かめて、電池を入れ直して下さい。
電池端子の接触不良	端子の表面をふいて、電池を入れ直して下さい。

### 時計が止まる、または遅れる

考えられる原因	処置
電池容量が少ない	時計/振子用電池ホルダの電池を同じ種類の新しい電池に2個同時に交換して下さい。
電波障害	リセット操作をして下さい。 (本書 <b>リセット操作について</b> 参照)

### 時分針が早回りした後、動かない

考えられる原因	処置
電波の受信	そのまま17分程お待ち下さい。その間ボタン操作はしないで下さい。
電池容量が無い または容量が少ない	時計/振子用電池ホルダの電池を同じ種類の新しい電池に2個同時に交換して下さい。

### 報時音が鳴らない

※内蔵プログラムにより、午後10時から午前5時までの間、報時は鳴りません。  
※手動による時刻設定時に、午前/午後を間違えると、日中に夜間自動鳴り止め機能が作動してしまいます。

考えられる原因	処置
音量調節つまみが小の状態	音量調節つまみを右側へ回して調整して下さい。
電池が入っていない	報時用電池ホルダの電池を同じ種類の新しい電池に2個同時に交換して下さい。
電池容量が無い	
電池が正しい向きで入っていない	電池の⊕⊖の向きを確かめて、電池を入れ直して下さい。
電池端子の接触不良	端子の表面をふいて、電池を入れ直して下さい。

### 午後6時～午前9時(夜間自動鳴り止めの時間)に報時音が鳴る

考えられる原因	処置
電波を受信していない	リセット操作をして、電波受信による時刻修正をさせるか手動時刻設定で午前/午後を正しく設定しなおして下さい。 (本書 <b>リセット操作について</b> / <b>手動で時刻を設定する</b> 参照)
午前/午後が正しく設定されていない	

### 報時音が小さい、またはひずむ

考えられる原因	処置
音量調節つまみが小の状態	音量調節つまみを右側へ回して調整して下さい。
電池容量が無い または容量が少ない	報時用電池ホルダの電池を同じ種類の新しい電池に2個同時に交換して下さい。

### 振子が動かない

考えられる原因	処置
時計が水平に掛けられていない	時計を垂直・水平に掛け直して下さい。
電池容量が無い	時計/振子用電池ホルダの電池を同じ種類の新しい電池に2個同時に交換して下さい。